

●プロフィール

ヴァンサン・ラルデル(ピアノ) Vincent LARDERET

スタインウェイ・アーティスト。その輝きに満ちた並外れた演奏と高い評価を受けている録音により国際的に認知されている。その幅広いピアノイズムは「叙情的な表現の驚くべき繊細さ」(The classical shop/イギリス)、「様々な色とりどりの音色」(ファンファーレ/アメリカ)、「まるでオーケストラのようにピアノで表現する」(クラシカ/フランス)と賞賛されている。

フランスの国立リュエル・マルメゾン音楽院にて学び最優秀技巧賞を受賞。ドイツのリューベック音楽大学にてブルーノ・レオナルド・ゲルバーに師事。同じ時期にバルセロナのマリア・カナルス国際音楽コンクール、ラザール・ベルマンが審査員をつとめるイタリアのA.M.A.カラブリア国際ピアノコンクール、フランスのプレスト国際ピアノコンクールなどをはじめとする数々の国際ピアノコンクールに優勝している。また、スイスの若いソリストのための国際オルフェウム財団からも受賞している。ヴァンサン・ラルデルの音楽の解釈は、彼がこれまで献身的に学んできた音楽の歴史分析やその音楽学的なアプローチによって形を成している。

ヴァンサン・ラルデルのレパートリーは、ロマン派への重要な先鞭をつけたスカルラッティからブーレーズをはじめとする20世紀のフランス音楽といったように多岐にわたる。また、スクリャービン、ファリャ、シュミットやシマノフスキなどのあまり良く知られていない作品にも熱心に取り組み、紹介している。2007年にはベートーヴェンの作品をリサイタル・シリーズとして取り上げ、中でも『ハンマークラヴィーア』ソナタ作品106と作品111には特別に優れた演奏を残している。ステイーヴン・コヴァセヴィチと共にベートーヴェンのソナタ全曲ライヴ録音に臨み、その模様を収録したピアノ・パッションからリリースされているDVDセットも高く評価されている。パリではカルロス・セプロから、ヴラド・ベルルミュテールがラヴェルと共に注釈をつけたラヴェルの楽譜を遺産として受け継ぎ、その完成に尽力した。

コンサート・ピアニストとしてリサイタルや協奏曲の演奏で国際的に広く活躍しており、これまでにチューリッヒ・トーンハレ、バルセロナのカタルーニャ音楽堂、香港文化センター(ラヴェル:ト長調の協奏曲)、ワシントンのナショナル・ギャラリー・オブ・アート、イギリスのポトン・ホール、イタリアのテアトロ・ウンベルトやフランスのサル・プレイエル、サル・ラヴェル、シテ・ドゥ・ラ・ミュージック、ラジオ・フランス、サントウスタッシュ教会(ベートーヴェン:第4番)、カンヌ・パレ・デ・フェスティヴァル(プロコフィエフ:第3番)など主要なホールに出演している。またシューレスヴィヒ=ホルシュタイン、オルフェウム、ブゾーニ、ベルリオーズ、ディナルド、ブーレーズ、ラ・ロック=ダンテロンやラ・フォル・ジュルネなどの世界の主要な音楽祭に招かれている。また室内楽の分野では、彼自身の2台ピアノと打楽器のアンサンブルをはじめ、ドビュッシー・カルテット、チェロのソル・ガベッタ、ピアノのミシェル・ダルベルト、ウエストサイド・カルテットなどといった傑出したアーティストとの共演を数多く果たしている。サルヴァドール・ブロン、ダニエル・カヴァカ、エリック・レダーハンドラー、ジュゼッペ・カタルドなどの著名な指揮者や、バレス交響楽団、チェコ・ヴィルトウオーゾ交響楽団、オーズ交響楽団や、香港シティ室内オーケストラなどとも共演している。

さらに様々な国際ピアノコンクールの審査員やマスタークラスの講師もつとめている。アジアへも定期的に招かれており、2014年には香港演芸学院では、国際的にも名誉な称号である「アーティスト・イン・レジデンス」と「講師メンバー」に選ばれている。人道的な立場から、アムネスティ・インターナショナルなどに慈善演奏も行っている。彼の演奏は、フランスのフランス3、フランス2、フランス・ミュージック、ラジオ・クラシック、スイスのラジオ・スイス・ロマンド、ドイツのカルチャー・ラジオRBB、MDR、WDR、Radio Nacional d'Espanya、ハンガリーの市民ラジオ、ボリビアのRadio Paris-La Paz、カタールのQBS、ラジオ・カナダとラジオ・ニュージーランドなどのラジオやテレビ番組にて放送されている。録音としてはARS Produktion、ナクソス、シャンドス、インテグラル・クラシックから発売されており、Classica's "CHOC"、"MAESTRO" of Pianiste、Diapason 5、Resmusica's "CLEF"、Music Web Internationalの「月刊レコーディング」、Klassik Heute 10/10、RITMO's 4 stars、Pizzicato's "SUPERSONIC"などで国際的な高い評価を得ている。また、フローラン・シュミット「サロメの悲劇」、モーリス・ラヴェルの「ダフニスとクロエより3つの抜粋」の世界初録音にも取り組んでいる。2014年3月にはドイツのARSプロダクションから、ラヴェルの「オーケストラとピアノの名手(Orchestral & Virtuoso Piano: SACD-CD)」、2015年にはラヴェルの2つのピアノ協奏曲を録音、アメリカ・フォンファーレ誌に「年間ベストレコーディング」、「ミケランジェリとツィメルマンの録音に匹敵する"録音"(ドイツ Klassik Heute)」などと評された。2016年、フランス、ストラスブールの"Piano au Musée Würth"の芸術監督に任命された。

Management JAPAN
 Pro Arte Musicae Co. Ltd
 Mr Genroh Hara, CEO
 Otowa 1-20-14-5F, Bunkyo-ku,
 Tokyo, 112-0013, JAPAN
 Tel.+81-3-3943-6677
 Fax.+81-3-3943-6659
 E-mail : info@proarte.co.jp
 www.proarte.co.jp

Poster of the “Fantastic Pianist Series” during Vincent LARDERET 2016 Japan Tour

Fantastic Pianist Series 2016

ヴァンサン・ラルデル

ピアノリサイタル



モーリス・ラヴェル
Maurice Ravel

鏡より
Miroirs

2. 悲しげな鳥たち
Oiseaux tristes

3. 海原の小舟
Une barque sur l'océan

ダフニスとクロエ より
Daphnis et Chloé
(日本初演/V.ラルデル編)

クロード・ドビュッシー
Claude Debussy

映像 第1集
Images I

ヨハネス・ブラームス
Johannes Brahms

3つの間奏曲 Op.117
3 Intermezzi

ピアノソナタ 第3番
へ短調 Op.5
Sonate Nr.3 f-moll

濃密で詩的な感性
繊細なタッチにエスプリが漂う…
ラヴェル直系の傑出したフレンチ・ピアニズム

© Mirova Trubare

2016
Vincent Larderet
 Piano Recital

10.17 月

19:00開演 (18:30開場)
トッパンホール
〒112-0005 東京都文京区 水道1-3-3
 江戸川橋駅より徒歩8分

全席指定 一般：6,000円 / 学生：3,000円 / ベア：10,000円
 発売日：(先行)PAM会員 2016年4月18日～4月30日
*プロアルテムジクのみ取り扱い
 (一般)2016年5月9日～ *未成年入場不可

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222 toppanhall.com
※トッパンホールクラブ会員は一律200円OFF

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 294-509) t.pla.jp
 イープラス eplus.jp
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp/ticket
 ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター番号) *10:00～20:00 t-tike.com

主催・お問合せ・チケット **プロアルテムジク** MUSICAE TEL.03-3943-6677 www.proarte.co.jp HPからのPAM会員募集への入会・お申し込みまでお問い合わせいただけます。